

Anton Bruckner (1824-1896)

アントン・ブルックナー

ひと粒で2度おいしい交響曲

A
2023
OCTOBER
[第1992回]

ブルックナーの交響曲は長大で、圧倒されるような音響が特長だ。そして、彼が残した交響曲には、複数のバージョンがあることが少なくない。これは、同じ交響曲をブルックナー自身が書き直したり、他人が手を入れたものが残っていたりするからだ。お気に入りの曲ができたなら、こういったバージョンの違いを聴き比べるのも、マニアの楽しみのひとつ。ブルックナーの交響曲は、ひと粒で2度おいしい!?



書き直したり、思い悩みながら
作曲するブルックナー
イラストレーション ©IKE

クラシック音楽は長い?

ポップスなどと比べてクラシック音楽は演奏時間の長い曲が多く、ブルックナーの交響曲のように1時間を超える作品もあったりする。それだけに、たくさんの要素が詰まっていて、まるで大長編小説のよう。冒険やロマンス、笑いや涙。ひとつの作品のなかで、山あり谷ありの起伏に富んだ展開が繰り広げられる大きな物語ストーリーを表現するには、それなりの長さも必要なのだ。